

## 鋼製地中連続壁工法

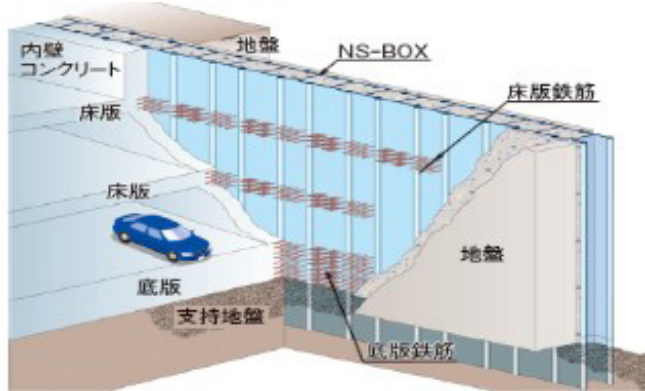
- 工法-I (コンクリート等充填鋼製地中連続壁工法)
- 工法-II (ソイルセメント鋼製地中連続壁工法)

## 鋼製地中連続壁協会

〒100-6908 東京都千代田区丸の内2-6-1 日本製鉄(株)建材開発技術部内  
TEL 03-3212-8610

URL <https://www.ns-box-dwa.jp/> mail HP内に問い合わせフォームあり

■会員会社28社(2023年6月現在)株安藤・間、株大林組、株奥村組、鹿島建設株、株熊谷組、株鴻池組、五洋建設株、佐藤工業株、清水建設株、西武建設株、株銭高組、大成建設株、大日本土木株、株竹中土木、鉄建建設株、東急建設株、戸田建設株、飛鳥建設株、西松建設株、日鉄テックスエンジニア株、日本製鉄株、株福田組、株フジタ、株不動テトラ、株本間組、前田建設工業株、三井住友建設株、りんかい日産建設株



主な用途 地下道路・地下駅、立坑等の本体地下壁



施工写真

### 概要

鋼製地中連続壁工法とは、継手を有するH形状の鋼製連壁部材「NS-BOX」を連続して地中に建て込み、高剛性の地下壁体を構築する工法である。

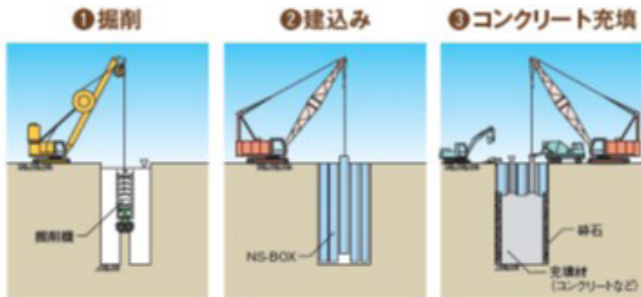
工法-I (コンクリート等充填鋼製地中連続壁工法)、工法-II (ソイルセメント鋼製地中連続壁工法) の2種類がある。工法-I は大深度・大壁厚に対応可能。工法-II は深度60m、壁厚1.2mまでと適用範囲は限定されるが、工法-I に比べ、高剛性かつプラント設備も小さいため、より薄壁化・省スペース化が可能となり、工期・経済性に優れている。

#### ●施工実績

横浜湘南道路藤沢立坑、環状2号線地下トンネル、相鉄・東急直通線新綱島駅、新横浜駅他

### 【工法-I (コンクリート等充填鋼製地中連続壁工法)】

安定液掘削した溝にNS-BOXを相互に連結しながら建て込み、コンクリートなどを充填して壁体を構築する。



施工ステップ図



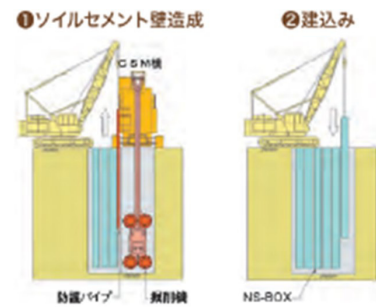
NS-BOX (GH-R)



NS-BOX (GH-H)

### 【工法-II (ソイルセメント鋼製地中連続壁工法)】

原位置土混合攪拌工法などにより、ソイルセメント壁を造成後、NS-BOXを相互に連結しながら建て込み、壁体を構築する。



施工ステップ図 (CSM工法の例)



NS-BOX (GH-R)



NS-BOX (GH-H)

### 特長

#### 1. 現場省スペース

NS-BOXは工場製作するため、現場での加工ヤードが不要。軽量のため、建設機械の小型化が可能。プラントヤードの縮小が可能 (工法-II)。

#### 2. 薄壁化

RC連壁と比較して壁厚の30~40%の削減が可能。本体利用することにより用地制限を緩和可能。

#### 3. 高止水性

芯材が嵌合継手により連続的に配置されるため、芯材が離散的に配置される他の工法に比べて高い止水性を確保。